

# スニユ日本

版 コ ス ネ シ

No. 532

224) = 2-ス no 367  
225) 変換 = 2-ス no 194  
226) 中口 = 2-ス no 208

## 一、ライシャワー大使

去る二十四日白昼、東京にあるアメリカ大使館内でライシャワー大使が若い暴漢に襲われるという事件が発生しました。  
犯人は同大使館のホテル・オークラ側のヘイを乗り越えて館内に侵入。外出のため車に乗ろうとした大使の右モモを刃渡り十六センチの切出しナイフで刺したのです。  
大使館員にその場で捕り押えられたこの男は、同日早朝、沼津から上京した十九才の少年。両眼が悪いために就職もできない。これはアメリカの占領政策が悪いためだと飛躍した論理をかける精神異常者。  
一方現場からすぐに近くの「虎の門病院」に運ばれたラ大使は、右モモを深く刺されているために手術。三週間という重傷です。  
相手が一国を代表する大使。警備上の問題もさることながら常識では考えられないこの事件、野放しにされている精神異常者の問題を早急に考えねばならないところに日本はまきているのです。

## 一、浩宮さま房州へ

千葉

スーパード

○春たけなわの三月二十二日、皇太子ご一家は房州を訪問されました。  
これは浩宮さまの幼稚園入学の情操教育にしようとお夫婦が計画されたもの。  
この日白浜を訪れた浩宮さまは先ず海女の作業をご覧。  
この後、真赤に咲いたお花畑に浩宮さまは至極ご満悦のご様子です。

## 一、大詰にきた日韓交渉

第一回予備会談からもうすでに十四年、いろいろ難問題をかかえ、いくたの曲折をくりかえしてきた日韓会談もいよいよ大詰にきたようです。  
漁業問題についても双方すでに論点は出つくした感があり、政治会談に解決をゆだねる段階にさしかかっているのです。  
両国の複雑な国内事情から、なお予断をゆるさぬ要素もあるようですが、日韓交渉もいよいよ最終段階にきたという事が出来るでしょう。

## 一、ヘナント・レースは荒模様

東京、大阪、名古屋

スーパード

プロ野球セントラル・リーグは三月二十日開幕しました。  
後楽園球場では金田対王、長島の対決が人気を呼んで、小雨降る球場に四万の大観衆が集まりました。  
長島は初打席を二塁打で一打点を飾り、また王は場外に大ホームランをかつとばし好調のすべり出しです。  
甲子園球場では今年から大リーグをまねて投手交代はスクーターでと。そしてバッキーがさつそうと登場。そのかいあってか、広島を4安打におさえ初勝利を飾りました。  
バッティングもオリオンズから移籍した山内が活躍。セントラル・リーグ初安打が逆転打となり、まずまずのスタート振りです。  
一方中日球場では、フアイター江藤が、ホームランを放てば、移籍の葛城もホームランを打ち投手王國返上とハッスル。  
しかし、たのみの投手陣は鬼軍曹別所コーチの引きいる大洋打線にめった打ちされ残敗。  
早期開幕で異変はつきものとはいえファンにとっては楽しいプロ野球の開幕です。

63JDR 280 104 96 123